

インタビュー

ちくたくネットでは、さまざまな職種の医療・介護従事者のみなさんがメンバーとして活躍されています。今回は医療ソーシャルワーカー、訪問看護師、医師の3人に活動と地域医療への思いを伺いました。



医療法人剛友会
諸隈病院
医療ソーシャルワーカー
にしむら しょうぞう
西村 昇造さん

「ちくたくネット」では「病院・施設・ソーシャルワーカー部会」の部会長を務めています。多久市は医療機関同士のつながりが強いこともあり、いち早く在宅医療の連携に取り組んできました。今ではスムーズな連携で質の高いサービスを提供できています。これからさらに行政と民間の連携を深め、災害時の対応なども検討しているところです。

地元多久市のため、みんなが安心して暮らせるまちを目指しているので、「多久市のソーシャルワーカー」として頼っていただけなら嬉しいです。



医療法人剛友会
にここ訪問看護ステーション
訪問看護師
きたじま たけみ
北島 岳美さん

訪問看護では病院と同じような医療的ケアはもちろん、医師と連携しながら痛みや苦痛、不安に対する薬の調整やマッサージといった緩和ケアを行っています。また、介護されているご家族の支援も活動の一つです。「ちくたくネット」があることで訪問看護ステーション間の情報共有ができ、看護のレベルアップや充実にもつながっています。

今後は在宅での看取りが増える時代と言われています。訪問看護師として、家族に見守られながら自分らしく生き抜くことを支えていけたらと思います。



佐賀県医療生活協同組合
多久生協クリニック
医師
あい の ひろ お
愛野 浩生さん

「ちくたくネット」が始動してから、患者さんや利用者さんが快適に過ごすことができるようアドバイスをいただく機会が増え、できることの幅が広がったと感じています。また、市民公開講座で講演した時は、市民のみなさんとの距離もより近くなったと感じました。現在多久市では、医療・介護に加え行政とも強く連携できており、在宅看取りができる条件が揃っています。これからも医師として「ちくたくネット」の一員として、誰もがその人らしく人生を全うできるように取り組んでいきたいです。

「自宅で受ける医療・介護についてのアンケート」の結果をもとに、動画を作成しました

YouTube で公開していますのでぜひご覧ください

※Wi-Fi 環境のある場所での視聴をおすすめします

